

令和 6 年度 審議会議事録

日 時：令和 7 年 3 月 28 日 14:00～15:00

場 所：摂津市環境センター 新館 3 階 見学者室

参加者：審議会委員：尾崎会長、大下副会長、榎谷委員、阪本（剛）委員

阪本（舞）委員、島内委員、中西委員、竹岡委員

事務局：西川理事、三浦課長、衣川課長代理、野崎主査

資 料

① 令和 6 年度摂津市廃棄物減量等推進審議会資料

② 令和 7 年度摂津市一般廃棄物処理実施計画

【議事】

1. 委嘱及び挨拶・会長副会長の選出
2. 令和 5 年度の振り返りについて
3. その他報告事項

資料に沿って事務局より説明。

【質疑応答】

委 員：リサイクル率を溶融スラグ・溶融メタルが押し上げていると説明があったが、中間目標値が令和 7 年度、最終目標値を令和 12 年度とする中、今後、溶融スラグ・溶融メタルを含めた数値 19.8%をリサイクル率として使っていくのか、それとも摂津市独自の設定値 11.8%を使って行くのか。

事務局：令和 7 年度の中間見直しの中で議論することを考えているが、本市リサイクル率として公表していくのは 19.8%となる。資料には 2 段書きということも検討していく。

委 員：事業系ごみ及び家庭系ごみ種分析調査のごみのサンプル採取はどのようにしているのか。

事務局：年 1 回採取日を決定し、その日に搬入がある 1 台をランダムに調査している。公表するサンプル量としては足りていないと考えているが、費用コストも掛かり頻繁に実施することができていない。

委 員：令和 5 年度の 1 人 1 日当たりのごみ排出量が減少している理由がわかれば、対策をとることもできるため、市民の意識調査アンケートを実施してはどうか。

事務局：令和 7 年度に実施することは予算の都合上厳しいため、他のアンケートと一緒に実施する方法も含めて検討したい。

委 員：アンケートについては広報に設問を載せて QR コードから回答する等の手法も可

能なので、検討してもらいたい。

委員：事業系のごみ種分析調査で、未使用食材の割合が高いが、全国的な傾向なのか。国では、賞味期限と消費期限を混同しやすいという背景から、賞味期限を過ぎた食材も食べられる旨の表示をするよう通知されているが、これらを混同し、消費期限を過ぎた食材も早めに処分しているなど実態があるように思う。

事務局：全国的な傾向の情報は持ち合わせていないが、国の考え方も変わって来たことによる影響はあると思う。また全国的な傾向等も調べてみたい。

委員：食品ロスの推計値をどのように算出しているのか説明をしていただきたい。

事務局：食品ロス量の推計値について、数値の構成としては、家庭系ごみで直接廃棄される未使用食材、野菜等で食べられる部分も除去して廃棄される過剰除去、食べ残しの3つの値から推計している。直接廃棄については、家庭系ごみのごみ種分析調査の結果、直接廃棄された未使用食材の構成比が0.6%となっており、この数値を摂津市の家庭系ごみの全量に掛けて、全体量のうちの未使用食材量を推計している。過剰除去と食べ残しの部分については摂津市のごみ種分析調査では数値がでないため、環境省が実施している実態調査の全国的な割合を使用し、それを摂津市のごみ量に掛け合わせて求めた数値となり、これらの合計が食品ロス量の推計値となる。

委員：フードドライブの件数が減少したことについて、市民が食品ロスを出さない消費活動をしていることで、件数が減っているのであれば必ずしも悪いことではない。それよりも市民が「フードドライブを知っているか？協力したことがあるか？」が重要なことで、それにより意識が向上し、食品ロス量が減少し、フードドライブの件数が減っていくのは良い傾向である。

委員：北摂7市3町の自治体の中でマイバック持参率が低いのは、摂津市では昼間に働きに来る方が多く、昼食時等にマイバックを持参せずにスーパーで買い物し、手ぶらで行きレジ袋をもらっている可能性がある。その場合、市民へのPRだけでなく、企業の従業員に向けたマイバック持参をPRする必要があるのではないか。

委員：摂津市の集団回収の対象物はどんなものがあるのか。

事務局：アルミ缶・新聞紙・雑紙・ダンボール・古布・牛乳パックとなる。

委員：地域での集団回収の数字は家庭系ごみ組成分析の中に反映されているのか。

事務局：ごみ種分析調査結果には含まれていないが、ごみの排出総量には含まれることとなる。

委員：集団回収の実態がわかる資料を作っていただきたい。

事務局：集団回収の経年の動きについて、平成30年度の総量2,271トン、令和5年度が1,272トンとなっており、5年で1,000トン減少している。団体数は平成30年が113団体、令和5年は101団体となっている。

委員：今日初めて参加して、市では多くの取組をしていることを知った。

委員：委員からあったが、「こんなに多くの取組をしていることを知らなかった」という感想が出てくることはあまり良くない。多くの方に知ってもらうことで、意識を高めて行くことが必要であり、様々な媒体を利用し広報活動をしていくことが重要である。

【その他報告事項について】

事務局：令和 7 年度は中間見直しの年度であり、摂津市廃棄物減量等推進審議会を 3 回程度開催する予定としており、夏から秋頃に 1 回目を開催予定としている。

- 1 回目・・・令和 6 年度の進捗報告及び一般廃棄物処理基本計画見直し（予定）
- 2 回目・・・一般廃棄物処理基本計画の見直し案の提示（予定）
- 3 回目・・・中間見直し後の計画策定（予定）

以上